

謹賀



「誰ひとり取り残さない
持続可能な地域社会」
を目指して

五所川原市長 佐々木 孝昌

明 けてましておめでとうございます。
市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

さて、昨年は約3年にわたるコロナ禍もようやく収
束に向かい、疲弊した地域社会に元気を取り戻すため
「コロナからの脱却」をテーマとして市政に取り組ん
でまいりました。

特に、民間活力が主体となった多くのイベントが開
催されるなど、地域社会の再生に向けて大きく前進す
ることができた一年であったと実感しています。

4年ぶりの通常開催となった「五所川原立佐武多」
は25周年の節目を迎え、「ごしょがわら めじゃ〜 ス
トリート」といった新たな企画が生まれ、まつりのメ
インの一つに定着した「親子 de 立佐武多」も彩りを
添えるなど、連日多くの市民や観光客でにぎわい、街
全体が熱気と活気に包まれました。

その中で、子どもたちのはつらつとした姿を見て、
五所川原市の未来に希望の光が差し込むような思いで
ありました。運営に携わった皆様、参加、協力いただ
いた皆様により感謝を申し上げます。

本年は、引き続き、こうした明るい兆しの一つつ
を育みながら、市民の皆様と力を合わせ、共に考え、
共に行動する「市民協働」を進め、子どもから高齢者
まで誰もが健康で安心して住み続けられるまちづく
りを進めてまいります。

〇「活動人口」の増加による地域活性化に向けて

昨今の急速に進む人口減少の中で、持続可能な地域
づくりを進めるためには、民間主体の活動をより一層
活性化させ、子どもから高齢者まで多くの市民が活躍
する「活動人口」を増やすとともに、市民と行政がそ
れぞれの強みを生かしながら、一丸となって取り組ん
でいく必要があります。

一例を挙げますと「ホコ天マルシェごしょがわら」
「しうらグルメカーニバル」「キッズフェスタ」などの
各地域で実施している企画は、にぎわいの創出にとど
まらず、イベントを通じて、市民、関係団体、市職員

が連携して成功体験を共有し、地域の皆が手を取り合
い、市民自らが大切なふるさとを持続可能な地域とし
て構築するきっかけとして、大きな意義を持つもので
あり、大変心強く感じています。

本年も、こうした取組に必要な支援を講じ、官と民、
多様な主体が連携し、ノウハウを持ち寄って、共に創
っていく社会の構築を目指してまいります。

〇地域で支え合う共生社会を目指して

市では、子育て世代の経済的負担の軽減、相談体制
の強化、コミュニティの拠点となる公園の整備など、
子育てを取り巻く環境を充実させることで若い世代の
定住を促進してまいりました。

これからも、社会の宝である子どもを「地域全体で
育てる」という思いのもと、将来にわたって住み続け
たいと思えるような魅力的なまちづくりを進めます。

また、高齢者への支援においては、高齢者の共通課
題である認知症予防、介護予防の強化や、元気な高齢
者が同じ高齢者目線で支援する互助機能の強化を図る
など元気な高齢者の社会参加を支援する取組を実施し
てまいります。本年も、地域の高齢者の誰もが積極的
に社会参加を行えるよう必要な支援を行い、自らら
しく、社会的な役割を持ちながら生まれ育った地域で安
心して住み続けられる健康長寿社会の実現を目指して
まいります。

結びに

目まぐるしく変化する社会情勢により、地方がおか
れる状況は厳しさを増しております。しかしながら、
先に述べた市民が主体となった地域の活力は、現状を
変える兆しであり、新たな五所川原に生まれ変わるチ
ャンスであると思っています。

本年も「誰ひとり取り残さない持続可能な地域社
会」に向けて市政運営に努めてまいりますので、引き
続き、市民の皆様のご支援ご協力を賜りますとともに、
本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことを祈
念申し上げます、年頭のあいさつといたします。

新年



地域経済の再生を

五所川原市議会議長 木村 清一

明 けてましておめでとうございます。
五所川原市議会を代表し、謹んで新年のごあい
さつを申し上げます。

昨年1月に執行されました五所川原市議会議員一般
選挙におきまして、市民の皆様から負託を受けて市議
会に送り出していただきました。

新たに6人の新人議員が誕生し、前回の選挙で初当
選した議員も含めると、半数以上が1期目、2期目
の議員での構成となりました。

議員一同、あらためてその責任の重さを痛感して
おり、身の引き締まる思いであります。

昨年は振り返ってみますと、当市では4年ぶりに立
佐武多の運行が通常開催され、運行25周年の節目と
して、新たな取り組みも好評を博し、多くの市民、そ
して観光客にもお越しいただき、地域経済への好循環
を期待させるものとなりました。

世界情勢に目を向けてみますと、円安による物価の
高騰やロシアによるウクライナ侵攻の長期化に中東情
勢も加わるなど混迷を極めており、先行きは不透明さ
を増しております。

〇地球温暖化による気候変動への対応意識を

昨年、当市では幸いにも大きな自然災害はなかった
ものの、真夏日も多く記録的な猛暑となり、8月には
当市でも39度の気温に達するなど、従来の夏とは異
なるものとなりました。

気温の上昇に伴う気候の変動は、大雨等自然災害の
リスク等が増加するなど、私たちの生活にさまざまな
影響を与えます。

私たちの身の回りでのどのような環境の変化が起き
ているのか、また、生活がどのように変化するかとい
う視点から、自然災害への備えなども含めて注視しな
ければなりません。

また、当市にとって重要な産業である農業におい
ても、野菜や果実の生育不良が生じ、一等米比率の低下
やりんごの日焼けなどの影響が大きかったことから、
今後の気候変動に対応した農業の在り方の検討や品種

改良など、早急に考えていく必要があると感じており
ます。

〇地域経済の再生を

新型コロナウイルスは約3年もの長きにわたり、
人々の往来の減少や地域経済の疲弊など、大きな影響
を及ぼしました。

昨年5月、新型コロナウイルスが5類へ移行となり、
社会活動・経済活動が従前に近い形で行われるよう
になったものの、本来の姿には、まだまだほど遠いと感
じております。

一方でコロナ禍以降、デジタル技術を活用したオン
ラインミーティングやテレワークの導入など、働き方
やライフスタイルにも大きな変化が生じています。

当市は人口減少や少子高齢化の急激な進行、各分野
における担い手不足などの問題を抱えており、加えて
市民生活においては、物価高騰などさまざまな困難の
中にありますが、デジタル技術を日常生活や地域コミュ
ニティの活性化などに有効に活用し、実社会とうま
く融合させながら、お一人おひとりが地域資源の魅力
を再発見し、街が以前のようなにぎわいを取り戻して
いくことが、経済の再生につながっていくものと存じ
ております。

結びに

本年の干支である辰年は「甲辰」であります。
甲は草木の成長を表し、辰は動物にすると龍となり、
昇り龍などに描かれるとおり、勢いよく活気あふれる
年といわれております。

市議会といたしましても、市民の皆様が安心して暮
らすことができるよう、さらなる福祉の向上、地域経
済の再生などにまい進してまいる所存でありますので、
引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し
上げますとともに、本年が皆様にとりまして飛躍の年
となることを祈念し、新年のごあいさつといたします。